

＼観察してみよう／

なかばくふさゆうおうかぐんえんもみじひゃくろくす
中瀑布左右桜花群猿紅葉百鹿図のうち



3枚で1セットの絵で「春夏秋」とも呼ばれます。いま展示してあるのは、そのうちの春の絵です。
真ん中にうねうねした川、桜と松の木、そのまわりにたくさんの猿たちがいる春の川べが描かれています。近づいてよく見みると、猿のほわほわした毛や、豊かな表情や群れの中でのすごしかたがよく表現されています。何も描かれていない白い部分をわざと残して、滝や川を表現していることも特ちょうのひとつです。

おうかぐんえんず 桜花群猿図

こんかいみ
今回見るのはこれ！



もりかんさい
描いた人：森寛斎 (1814~1894)
めいじ
描かれた年：明治19年 (1886)

1. この猿はどこにいる？

ひだり
みつけたら、左の絵に○をつけてみよう



2. 猿は何匹いるかな？

した
かぞえたら下からえらんで○をつけてね

A.25匹 B.35匹 C.45匹